

G FORCE LINK Ver 2.06

ソフトウェア マニュアル

メニュー画面

1. セッティング

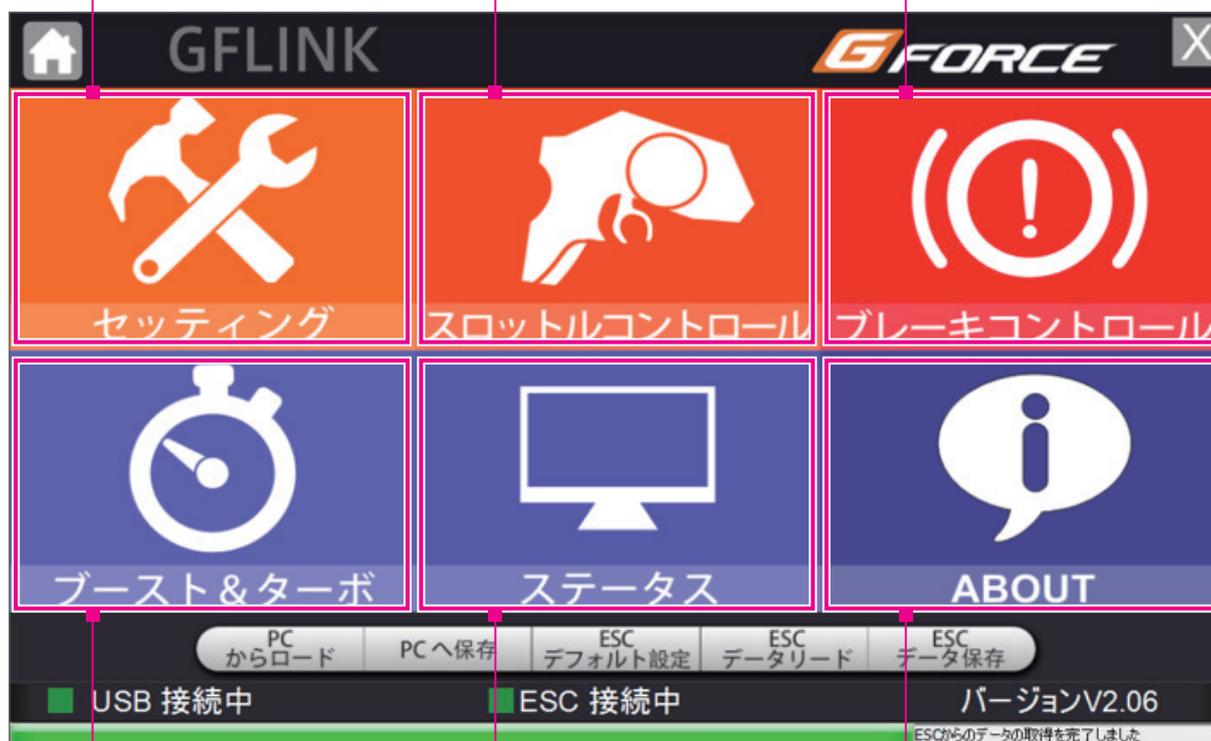
ランニングモードやカット電圧、BEC 電圧などのセッティングを行ないます。(→3P)

2. スロットルコントロール

スロットルカーブやパンチレートなどの設定を行ないます。(→4P)

3. ブレーキコントロール

ブレーキカーブやブレーキ強度などの設定を行ないます。(→5P)



4. ブースト&ターボ

ブーストやターボなど、可変電気進角の設定を行ないます。(→6P)

5. ステータス

モーターや ESC のステータスが表示されます。(→7P)

6. ABOUT

ESC、PROGBOX のステータス確認やアップデートを行ないます。(→8P)



- a PC に保存したセッティングデータを読み出します。
- b セットアップしたデータを PC へ保存します。
- c ESC を工場出荷状態の設定に戻します。
- d ESC の現在の設定を読み出します。
- e 設定した内容を ESC へ書き込みます。

1. セッティング

ランニングモードやカット電圧、BEC電圧などのセッティングを行ないます。



ランニングモード

⇒前進/後進、前進/ブレーキなどを切り替えます。

モーターローテーション

⇒モーター回転方向を選択します。

ESCオーバーヒートプロテクト

⇒ESCのヒートプロテクト作動温度を設定します。摂氏[°C]・華氏[°F]を選択できます。

モーターオーバーヒートプロテクト

⇒モーターのヒートプロテクト作動温度を設定します。摂氏[°C]・華氏[°F]を選択できます。

BEC電圧

⇒受信機への供給電圧を設定します。受信機・サーボの対応電圧を必ず確認してから設定してください。

7.4Vに対応していない受信機・サーボでは使用してはいけません。

※BEC電圧の変更はTS160のみ可能です。その他のモデルではESCが破損しますので7.4Vには設定しないでください。

リバーススピード

⇒後進の最大スピードを設定します。

デンアツカット

カット電圧を合計セル数で選択します。リポ2セルを3.0V/セルでカットしたい場合は3.0V×セル数(2)で6.0Vに設定してください。

2. スロットルコントロール

スロットルカーブやパンチレートなどの設定を行ないます。



スロットルカーブ

[カスタム]を選択すると左図のようなグラフが表示されます。マウスでクリックし、ポイントを設定することで好みのカーブに設定が可能です。

パンチレートスイッチポイント

⇒スロットル操作のどのポイントで1stと2ndのパンチレートを切替えるか設定します。

1stパンチレート

⇒スロットル操作前半部分でのパンチレートを設定します。

2ndパンチレート

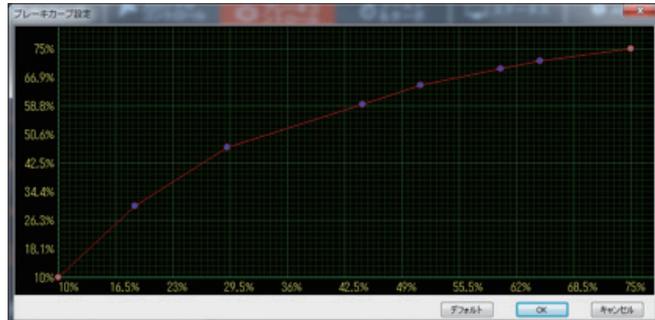
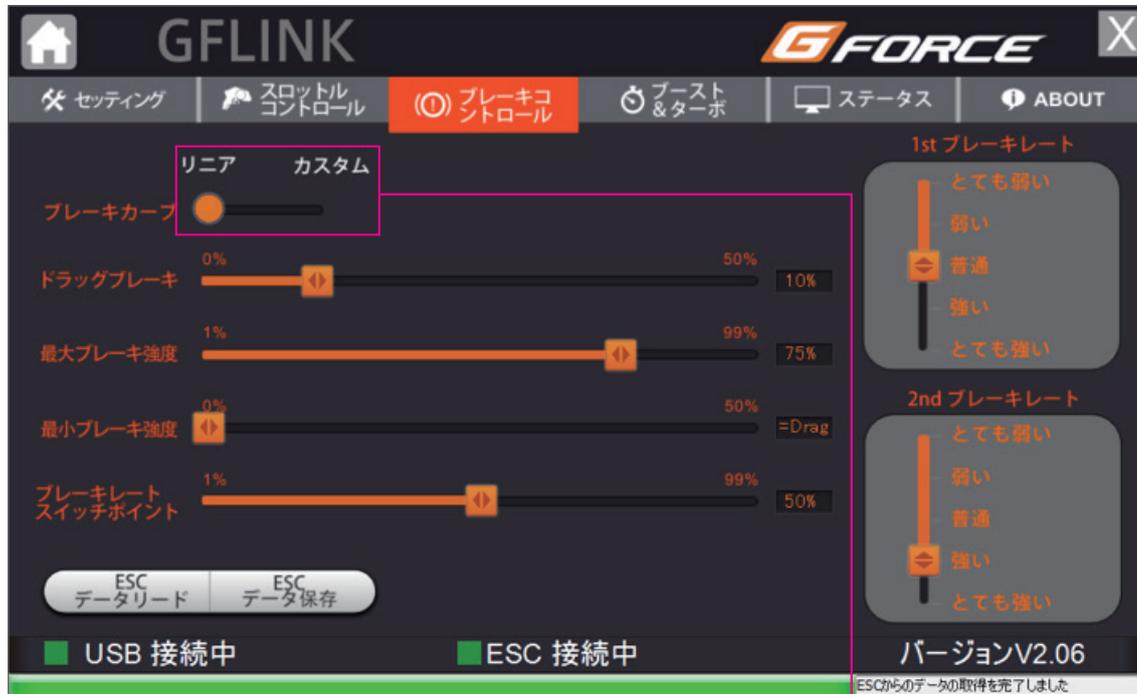
⇒スロットル操作後半部分でのパンチレートを設定します。

ニュートラルレンジ

⇒スロットルの遊びの範囲を設定します。

3. ブレーキコントロール

ブレーキカーブやブレーキ強度などの設定を行ないます。



ブレーキカーブ

[カスタム]を選択すると左図のようなグラフが表示されます。マウスでクリックし、ポイントを設定することで好みのカーブに設定が可能です。

ドラッグブレーキ

⇒スロットルをニュートラルにした時のブレーキ力を設定します。

最大ブレーキ強度

⇒フルブレーキ操作をした時のブレーキの効きの強さを設定します。

最小ブレーキ強度

⇒ブレーキの操作初期の機器の強さを設定します。

ブレーキレイトスイッチポイント

⇒ブレーキ操作のどのポイントで1stと2ndのブレーキレイト(効き)を切替えるか設定します。

1stブレーキレイト

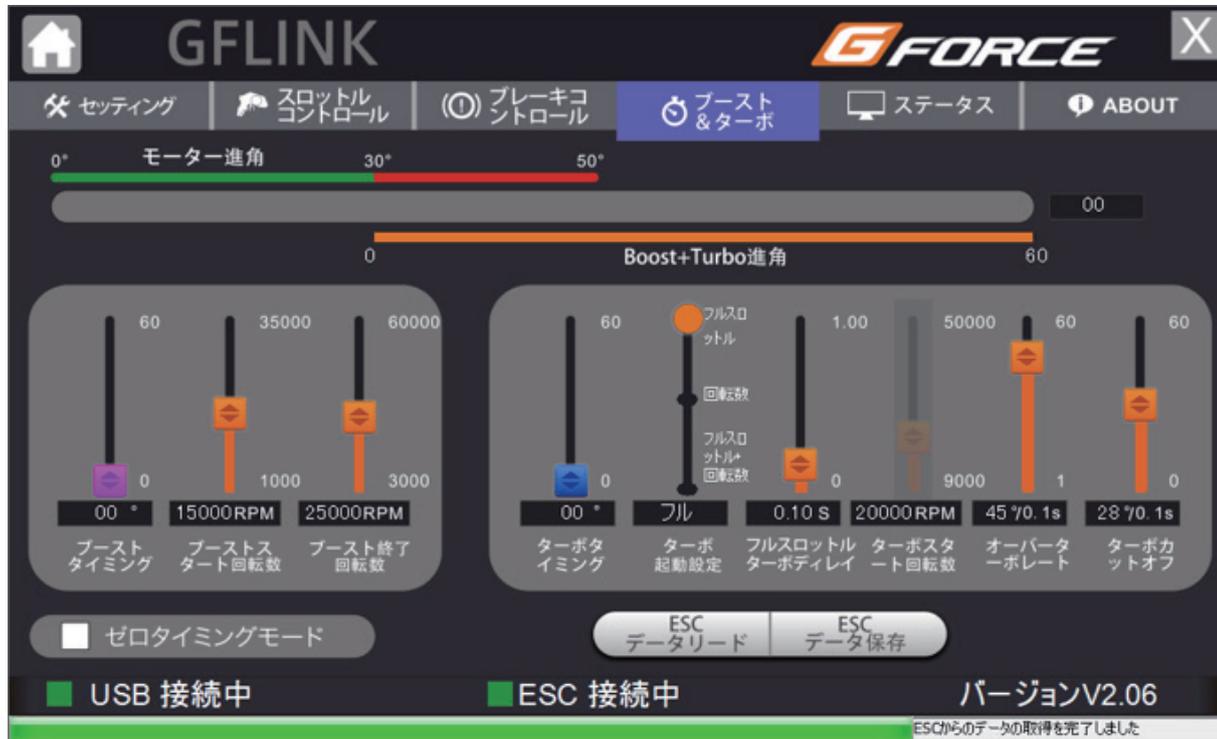
⇒ブレーキ操作前半部分でのブレーキレイトを設定します。

2ndブレーキレイト

⇒ブレーキ操作後半部分でのブレーキレイトを設定します。

4. ブースト & ターボ

ブーストやターボなど、可変電気進角の設定を行いません。



モーター進角

⇒[ステータス]項目で測定したモーター進角が反映されます。この数値はブースト・ターボには影響しません。

ブーストタイミング

⇒ブースト進角の設定を行いません。

ブーストスタート回転数

⇒ブースト効果をスタートさせる回転数を設定します。

ブースト終了回転数

⇒ブースト効果を終了させる回転数を設定します。

ターボタイミング

⇒ターボ進角の設定を行いません。

ターボ起動設定

⇒ターボ機能が作動する条件を設定します。

フルスロットル ターボディレイ

⇒ターボ起動条件に達した後、ターボが起動するまでのタイムラグを設定します。

ターボスタート回転数

⇒ターボをスタートさせる回転数を設定します。

オーバーターボレート

⇒設定したターボ進角に達した後、さらに追加でターボを作動させる機能です。

ターボカットオフ

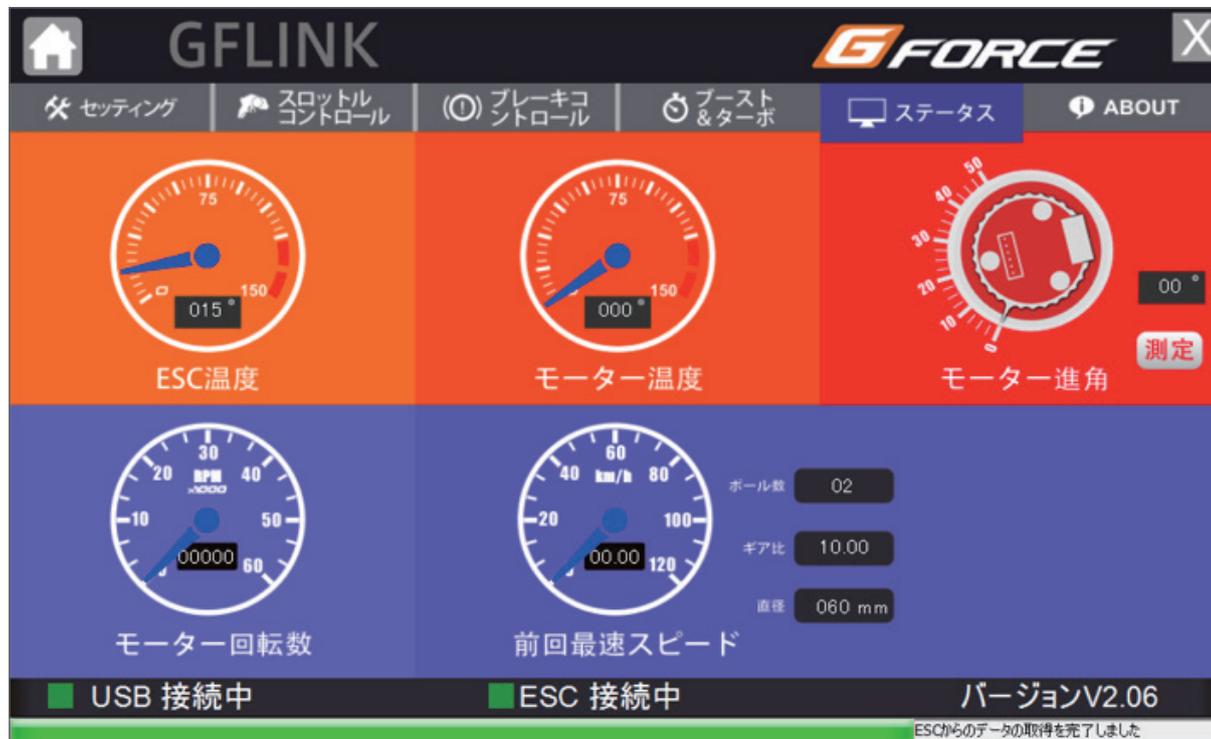
⇒ターボフル作動中にスロットルオフ操作をしたとき、極端な減速感を抑える機能です。

ゼロタイミングモード

⇒ここにチェックを入れると、ブースト・ターボ機能がカットされます。

5. ステータス

モーターやESCのステータスが表示されます。



1. ESCの温度を表示します
2. モーター温度を表示します。センサーケーブルが接続されていないと表示されません。
3. モーターのエンドベル進角が表示されます。
走行時と同様にESC、モーター、バッテリー、受信機を接続し、測定ボタンを押すことで測定が始まります。
4. モーター回転数を表示します。3.の進角測定と同時に計測されます。
5. ポール数、ギヤ比、タイヤ径を入力することで速度が計算されます

6. ABOUT

ESC、PROGBOXのステータス確認やアップデートを行ないます。



項目	ESCアップグレード	プログラムボックスアップグレード
デバイス名称	ESC	GFX10
ファームウェアバージョン	2.01	1.08
ハードウェアバージョン	1.0	1.0
アップデート可能なバージョン	2.01	1.08

■ USB 接続中 ■ ESC 接続中 バージョンV2.06

ESCからのデータの取得を完了しました

アップデートボタンを押すことで、ESC・PROGBOXのアップデートが可能です。
複数のアップデートパッチがある場合は、プルダウンからお好みのバージョンを選んでアップデートをしていただけます。